



「秋の学校林活動」を実施!

10月31日(月)に、標茶町立中茶安別小中学校(標茶町中茶安別)の校舎内で、秋の学校林活動が開催されました。(参加者は、小学生と中学生合わせて約25名、先生10名)

1時限目は、体育館で「タネ(種)の模型を作ってタネをとばしてみよう!」と「木の種のおはなし」を実施しました。

始めに、児童生徒全員に「木の種のおはなし」の資料に基づき、樹木や草本の種が次の世代をつなぐ架け橋になっていること、動くことが出



▽種の標本観察の様子

来ない植物がいろいろな形で生息域を拡げるための知恵と工夫を凝らし生きていくことなど、どの説明を行いました。子どもたちは、センターが用意した樹木の種の標本に実際に触れながら、興味深そうに観察をしていました。

次に、今回の目玉となる「タネ(種)の模型を作ってタネをとばし



▽種飛ばしの様子

てみよう!」の実践です。模型は、紙と小さな発泡スチロール製の重りで出来ており、タネの種類は、特

徴ある熱帯アジア産ウリ科のアルソミトラ・マクロカルパ(グライダー・飛行機を作る参考にされたと言われています)という種と、ラワンという日本でも建築材に使われるプロペラに似た翼を持って回転して飛んでいく種の模型を各自作成し、実際に飛ばしました。

児童生徒は、「初めて作ってみて楽しかった。うまく飛ぶときとあんまり飛ばないときがあった」「回転して飛んだり、グライダーみたいに飛ぶので面白かった」などの声があり、夢中になって飛ばす子もいるなど大盛況になりました。

1時限目は、小学1年生く小学4年生の班と、小学5年生く中学3年生の班の2班に分かれ、グループ別の学習を行いました。小1く4年生



▽ロボ木ーのおはなし

の班では「木育絵本ロボ木ー」という教材で、主人公ロボ木ーが近年の地球温暖化のお話しをし、その具体的

な対応をマンガと読み聞かせて解説しました。小5く中3の班では、「森林の水源かん養機能」について説明しました。パワーポイント画像を見て、水を蓄える機能や土砂が崩れるのを防ぐ効用があること、また緑のダムとなつて私達が生活する上で必要不可欠な生活・農業用水等に使用されていることを説明することで、森林の役割を幅広く知ってもらえたのではないかと思います。

今回の活動を振り返り、児童生徒からは、「種の模型がすごい飛んだよ!」と元気な声や「森林の役割の話しが聞けて勉強になりました」等の声があり、森林のことに興味を持ちながら学んでもらえたようです。また来年、子どもたちの元気な姿を楽しみにしています。

2022木育・森づくりフェア

11月19・20日(土・日)の2日間、イオンモール釧路昭和(釧路市昭和中央)のサンコート広場で、2022「木育・森づくりフェア」が開催されました。

この催しは、木育の取組みを通して、協働の森づくりへの関心を高めるため、地域住民の方々に「木とふれあう機会を提供」し、「森林づくりの重要性」や「木の良さ」等への理解を深めていただくことを目的として、釧路町村会環境保全型森づくりプロジェクトチームとくしろ森と緑の会が呼びかけ人となり、国有林、釧路総合振興局、根室振興局及び関係団体が連携して行われたものです。

会場には、釧路管内の木育・植樹活動を紹介する「パネル・木製品展示コーナー」、森のピタゴラスなどの木で遊べる「木製遊具コーナー」、そのかわいさから最近人気を集めるシマエエナガの形そっくりのボードコールづくりや森の香りがする手ごねせっけんづくりができる「木育広場」、木の葉や輪切り、枝等で木工クラフトが作成できる「木工工作体験コーナー」等、様々なブースが設け



▽ミニツリーづくりの様子

られまし
た。当セン
ターは19
日(土)
に、根釧
西部森林
管理署と
連携し

て、マツボックリ・木の輪切りや枝等で「ミニツリーづくり」を企画したところ、開始早々から親子連れが続々と当ブースを訪れ、ミニツリーの見本を参考に材料選び、木工クラフトづくりを楽しんでいました。また、午後からは更に多くの方が訪れ、用意した席がいっぱいになる時があるなど、会場は大いに賑わいました。

「親子で木とふれあいました」

12月8日(木)に、標茶町立中茶安別小中学校(標茶町中茶安別)で、小学1年生〜6年生の16名を対象に、木工クラフト「ミニツリーづくり」を実施しました。

当日は、授業参観日ということもあり、教室が密にならないよう、1年生と2年生及び4〜6年生で3つ



▽ミニツリーづくり【右下は作品】

に教室を
分け、当
センター
が製作指
導を行いま
した。
保護者
の方々が
見守る

中、子どもたちは、マツボックリやドングリ、木の枝等の森林の恵みを自在に組み合わせ、「ミニツリー」や「森林のいきもの」等、創造性あふれる大人では生み出せない素晴らしい作品を数多く製作し、また、親子で作品づくりに取り組む姿もあり、教室は、笑顔あふれる和やかな雰囲気になっていました。

授業を参観していた保護者からは、「子どもと一緒にできて良かったです」や「子どもたちが自由な発想で取り組んでいるのが良いですね。楽しい時間をありがとうございました」などの声がありました。この活動でつくり出した作品が、各家庭での楽しいひとときを演出する一助となり、木や自然への興味を深めるきっかけになってくれれば、大変うれしく思います。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。